

第5回庄内町社会教育委員会 会議録

- 1 開催日時 平成26年2月25日(火)9時30分～11時25分
- 2 開催場所 立川庁舎 第2会議室
- 3 出席委員 斎藤良一、佐藤富美、富樫良秋、佐藤啓子、石井玲子、志田征子  
岩浪勝雄、志田啓子、矢嶋玲子、菱谷光雄
- 4 欠席委員 奥山俊昭、廣田静吾、秋葉俊一、阿部真一
- 5 事務局 社会教育課長、社会教育課長補佐

.....

進行：社会教育課長

- 1 開 会 社会教育課長 (9:30)
- 2 議長あいさつ 富樫良秋議長  
教育長あいさつ
- 3 議事録署名委員  
矢嶋玲子委員  
菱谷光雄委員
- 4 協議事項
  - (1) 平成26年度庄内町教育委員会の重点と視座(案)について
  - (2) 平成26年度庄内町社会教育の基本方針と重点施策(案)について
  - (3) 平成26年度社会教育課予算(案)の概要について
  - (4) その他

協 議

- (1) 平成26年度庄内町教育委員会の重点と視座(案)について

《資料により教育長説明》

【議長】 説明のあったことについて、質問等はありませんか。私からは「八幡スポーツ公園整備」のことでありますが、施設的には整備されたと思います。今後もっと整備はあるのですか。

【教育長】 公園施設は整備されたので、今後は大きな整備はないのですが、八幡スポーツ公園一帯を考えたときに整備の必要がある場合も考えられるため、重点の一つとして掲げたものです。

【事務局】 現在のところは施設内の表示とか細々とした内容の整備はありますが、大規模なものはないと考えています。

【教育長】 家庭教育についてはいかがですか。もっといい政策などはないでしょうか。

【委員】 町内会の活動や話し合いに、中学校の父兄の方はあまり出てこないのも、もっと関わってほしいと考えて、猿田町では役付けをして参加を促すなどしているので、今年からは参加も期待できると思います。

【教育長】 学校、PTA、地域が協力して社会全体で子どもを育てていくことが大切なことだと考えています。

- 【委員】 月山登山についてですが、岐阜県では6年生になると児童と保護者が富士山に登るところがあるようです。そのような体験では大きな達成感を得られると思います。
- 【教育長】 立川中学校は鳥海山に登っているようです。何かを体験するというような教育は大事にしてほしいと学校にも伝えているし、町では郷土の人について教えています。清河八郎、阿部亀治、佐藤幸徳中将、北楯大学などを取り上げて小学校の副読本にも載せながら、郷土に対する愛着や興味を持たせるようにしているところです。
- 【委員】 20数年前、親子行事で月山に登ることになっていたのですが、悪天候により羽黒山に変更になってしまいましたが、一部の父兄には自分達が登るのが大変なのでやめたいという話もあったようでした。
- 【委員】 親の理解を得るのは難しいかもしれないです。
- 【委員】 登山などは子どもの体調が悪くなったりすると、途中で登れなくなる場合もあって、職員と保護者の支援体制が大変で学校としては不安もあるところです。
- 【教育長】 大変なことだけれども体験する価値は理解されているものの、PTAやその他多くの方の協力も必要となり、実施するにはいろんな悩みがあるようです。
- 【議長】 まずは、何事も地域の特色を生かしてやっていきましょう。
- 【委員】 「地域社会が一体となった地域体制づくり」とありますが、実際に地域づくりを構成しているのは主に自治会長です。しかし、2年くらいで会長が交代するなど、充実した地域の活動ができるのか疑問です。地域づくりを構成する人たちや地域の人材を育成していくことは、地域の活性化にも繋がることなので大切なことだと思います。
- 【事務局】 交付金化を実施するときにもそういう不安もありましたが、公民館長や職員もいるので、地域の人々の考えも取り入れながら活動できるのではないかと説明をしています。また、同じ人が役職を長くしすぎると固定化してしまう場合もあるし、たびたび変わるのも困るし、痛し痒しのところがあります。地域づくりの構成員にはいろんな人を取り込むことが大事なことで、リーダー研修など実施したいと思うものの、他の研修の状況からみても参加する人は少ないと思われます。
- 【議長】 参加してくれないから、実施しないというのではなく、やり方を工夫して研修を行ってほしいと思います。
- 【教育長】 昨年度、地域づくりへのアドバイザー派遣事業を取り入れる事も考えたのですが、一般的なことへのアドバイスはできるだろうが、それぞれの地域の課題についてアドバイスを受けることは難しいだろうと考え、実施を見送りとしたところです。
- 【事務局】 アドバイスを受けるというのは、町民がやらされているという感じになり、自分達でやろうという意識に繋がらないのではないかと考えたところです。
- 【教育長】 どのような仕掛けがいいのか、具体的な内容については苦慮しているところです。
- 【事務局】 子どもも大人も人のために役立つことをするという意識が薄れ、特に近年、受け身が多くなりがちになっていると感じます。中学校や高校でボランティアを経験した子どもは、青年になっても活動する傾向もあるようです。地域の中で、人の役に立つことをするという意識を育てることは難しいものだと感じています。
- 【議長】 大人が変われば子どもも変わる、とあるように大人の指導が大変なことです。
- 【教育長】 今後策定する長期教育振興計画の理念にそのような事を盛り込み、他人、社会のためになる人、生きがいを持てるような人を育てる教育をするにはどうすればいいのか

などを検討し、計画に取り込んでいきたいと考えています。そのため、日本一学力の高い秋田県の東成瀬村がどのような教育しているのか、まちづくりにどう生かしているかなど視察を行いながら、内容の検討を進めていきたいと思います。

(2) 平成 26 年度庄内町社会教育課の基本方針と重点施策（案）について

《資料により事務局説明》

【教育長】 子どもの居場所づくりを重点施策に取り入れたところですが、下校後、家でゲームをする子どもが多く、また、遊びに行くところも少ない状況から、子どもの居場所が必要だと感じています。立川小学校では、下校後スポ少までの間の居場所として教室等を開放していますが、公民館でも子どもの居場所を設けられないか検討をお願いしているところです。今年度は第四学区に学童保育所の要望があり、夏休み期間中、試験的に第四小学校の空き教室で学童保育を実施し、その後どうするか検討することになっています。

【委員】 払田の学童保育所まで行くには時間がかかり、疲れて眠る子もいるようだと思っています。近くにあったらいいのではないのでしょうか。

【教育長】 小学校区の一つくらいは子どもの居場所が必要だと感じていることから、保健福祉課にも学童保育所のことについて要望をしています。

【委員】 都会では、学校施設の一部を使用して学童保育を行い、登下校も安心していられるということもあるようです。

【委員】 払田の施設については、古くなり耐震の関係で心配しているようです。

【教育長】 学校施設を使用することで学校にとっては不便もあるでしょうが、現在の施設を有効に使用しながら実施することなので理解してほしいと、学校にも伝えているところです。

(3) 平成 26 年度社会教育課予算（案）の概要について

《資料により事務局説明》

【議長】 皆さん何か質問等はありませんか。

【委員】 質問等なし

(4) その他

平成 26 年度高齢者教育（栄寿大学）の実施方法について

《資料により事務局説明》

【議長】 第四公民館の和合大学院は、今後も継続になるのですか。

【事務局】 公民館事業であり、今後も実施すると思われま。

【委員】 栄寿大学の募集人数は決まっているのでしょうか。

【事務局】 今後講座内容が決まり、その際にバス移動等がなければ人数の制限は必要ないかと思われま。まずは内容を決めたいと、受講者を募集したいと思います。

【委員】 栄寿大学同窓会の役員会で説明はしたのですか。

【事務局】 今回の資料で役員の方々に説明し、理解をしていただきました。

【委員】 前は推薦されて大学生になったという自負もあったのが、現在は人数も減ってこの取り組みをどのように思っているのかは何とも言えないところです。

【議長】 まずは、次年度実施してみないとわからないということではいかがでしょうか。

【事務局】 そうですね。この内容で今後続けるということではなく、一年間の状況をみながら見

直しをしていきたいと思ひます。まずは皆さんからも受講について声掛けをしていただければと思ひます。

【議 長】 そのほかございませんか。なければこれで協議を終わります。

【事務局】 閉会

(11 : 25)